

第2章

大分県社会福祉協議会が目指す姿

1 大分県社会福祉協議会が目指す姿

第四次中長期活動計画を策定するにあたって、大分県社協が今後目指す姿についてまとめました。

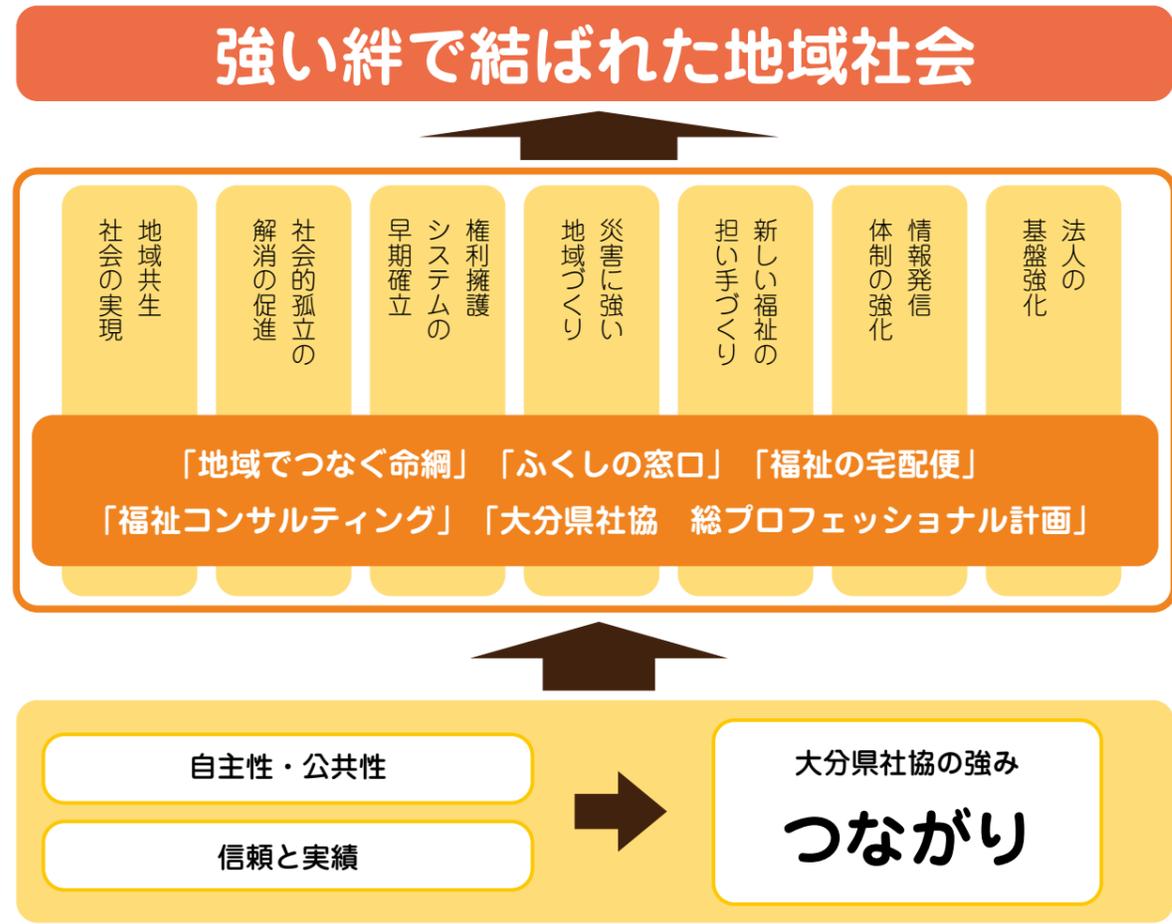
●大分県社協が大切にしていること

大分県社協は、社会福祉法によって「自主性」と「公共性」が担保された団体として、長年地域住民や関係機関と連携しながら様々な活動を実施してきました。例えば、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業、善意銀行事業などは、自主性、公共性が担保され、なおかつ広域的な立場で実施することが求められるため、大分県社協が実施すべき事業の1つです。

このように、長い歴史の中で様々な事業を実施し、信頼と実績、経験を積むことができたのも、県民の皆さまや福祉関係者からの協力と信頼があったからこそだといえます。

地域住民や関係機関・団体との協働して様々な取り組みを実施してきたことにより、大分県社協は強い「つながり」を築くことができました。この「つながり」は、今後大分県社協が「強い絆で結ばれた地域社会」を構築していくために必要な「強み」となります。

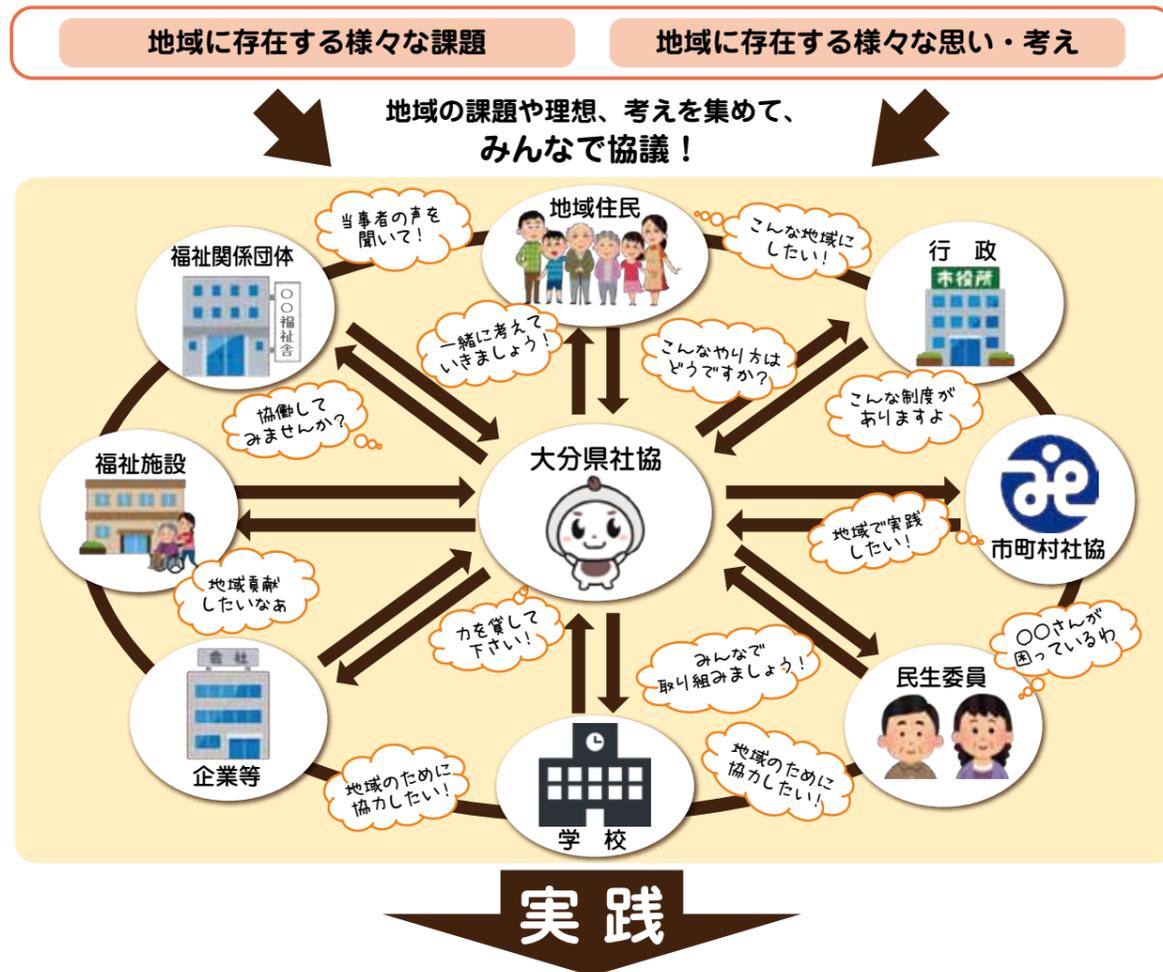
「つながり」というキーワードは重要な大分県社協の強みであるとともに、大分県社協が目指す「強い絆で結ばれた地域社会の構築」を実現していくための基盤となるのです。



1 大分県社会福祉協議会が目指す姿

●大分県社協のこれまでの取り組み

地域には様々な課題が存在し、そしてそれに対する様々な思いや考えも存在しています。下図のように地域の課題や抱く理想、考え、思いを集めて協議・実践し、理想を具現化していくことが求められます。その過程において大分県社協は、これまででも強みである「つながり」を活用し、地域住民をはじめ、市町村社協や行政、関係機関、関係施設、関係団体など、協働して、さまざまな事業や活動を実践してきました。



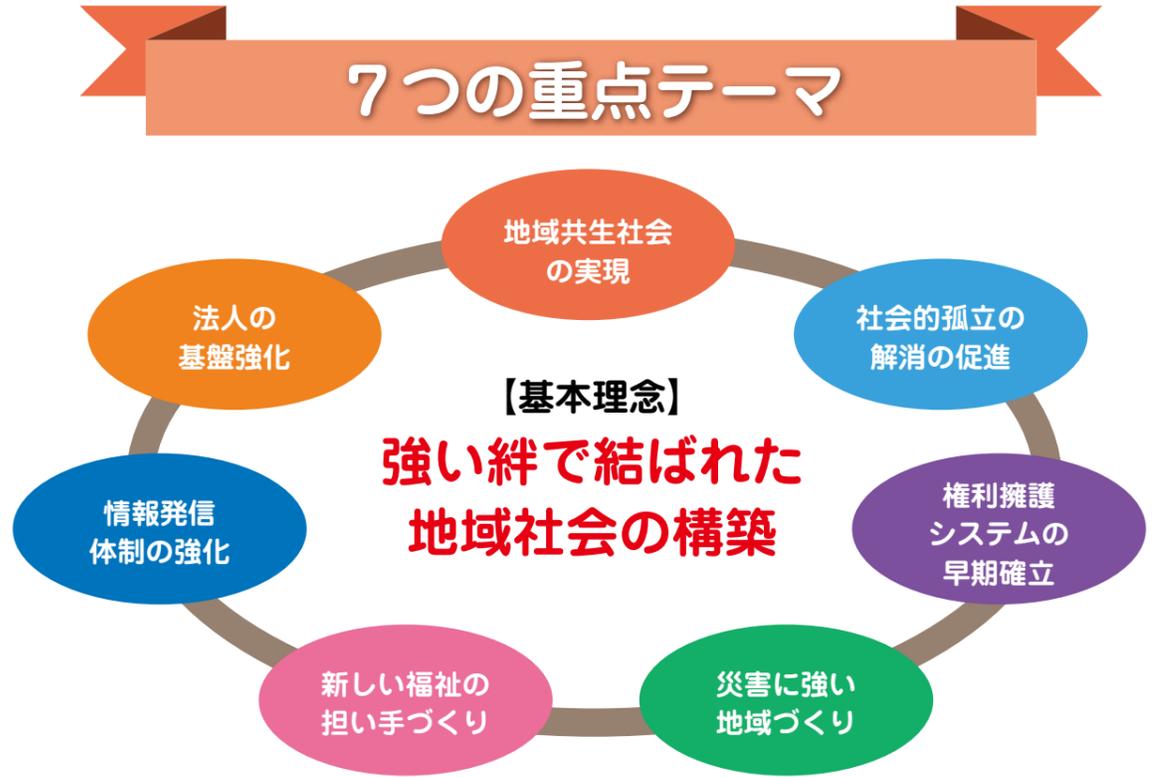
- ・災害時相互応援協定
- ・介護ロボット事業
- ・買い物弱者支援
- ・社会福祉施設の社会貢献
- ・子ども食堂の実施・仕組みづくり
- ・市町村社協との協働・後方支援
- ・あんしんサポートセンター
- ・フードバンクおおいた
- ・善意銀行
- ・社会福祉施設の経営支援
- ・各種別協議会の運営支援
- ・介護研修
- ・福祉人材センターの運営による福祉人材の確保・育成
- などなど…

例えば、「子どもたちが安心して過ごせる場所がほしい」という思いに対して、学校や企業、市町村社協、民生委員などと連携・協働し「子ども食堂」を開いたり、福祉施設の社会貢献事業と生活に困っている地域住民をつなぐ「“おおいた”くらしサポート事業」を実施してきました。このように、制度と制度の間をつなぐ活動や、最前線で活動する住民や市町村社協、関係施設・団体と連携し、地域の思いに沿った仕組みを協働でつくる等、様々な「つながりを活用した支援」を数多く実践してきました。

●大分県社協のこれからの取り組み

今後は、今までの取り組みを継続させながら、新たな「つながり」を築くなどさらに「つながり」を活用・発展させることで、地域の課題や理想等に対応していくことが求められています。

そのため、大分県社協では「7つの重点テーマ」として下記のテーマを掲げ、強みである「つながり」を活用しながら地域福祉の推進に取り組んでいきます。



大分県社協が持つ「つながり」を活用し、地域住民、市町村社協、関係施設・団体とさらなる連携・協働をしながら7つの重点テーマを実践していきます。複雑化、多様化する地域の思いや課題に対応するためには、「つながり」を活用した実践はもちろんのこと、権利擁護や災害支援、実践に携わる人材の育成、情報発信など幅広い取り組みが求められます。

地域の思いや課題は、今後ますます複雑化・多様化するといわれています。その思いや課題に対応していくためには、1つのことにだけ対応するのではなく、関連する思いや課題にも同時に対応していく「包括的な地域福祉の実践」が必要不可欠です。

今後の大分県社協の活動は、7つの重点テーマに沿った実践はもちろん重要ですが、7つの重点テーマを横断した取り組みも求められます。

そこで、7つの重点テーマを横断した取り組みとして次の5つを掲げ、縦割りではない包括的な地域福祉の実践として「つながり」を活用・発展させた取り組みを実施していきます。

包括的な地域福祉の実践により、多様な思いや課題に対して柔軟に対応できる地域社会の実現を可能とし、誰もが「安心・安全で尊厳のある自立した暮らし」を送れる地域社会の実現を目指していきます。

【7つの重点テーマを横断した5つの取り組み】

- 地域でつなぐ命綱
- ふくしの窓口
- 福祉の宅配便
- 福祉コンサルティング
- 大分県社協「総プロフェッショナル計画」

● 地域でつなぐ命綱



地域には様々な課題があり、個人での解決が難しいものも増えてきました。

- 頻発する自然災害による被害
- 社会的孤立や相対的貧困などの社会問題

上記のような課題は、深刻化してしまうと「命の危険」にもつながりかねない「地域の課題」と言えます。よって、地域全体で解決に向けて取り組んでいくことが求められています。

上記のことを踏まえ、大分県社協は地域の特性や状況に合わせて、

- 適切な情報提供
- フードバンクを活用した取組
- 暮らしサポート事業による支援
- 災害時相互応援協定による支援

などを実施することにより、地域と個人、地域と地域、地域と福祉をつなぐ「命綱」の役割を果たすことを目指します。

● ふくしの窓口

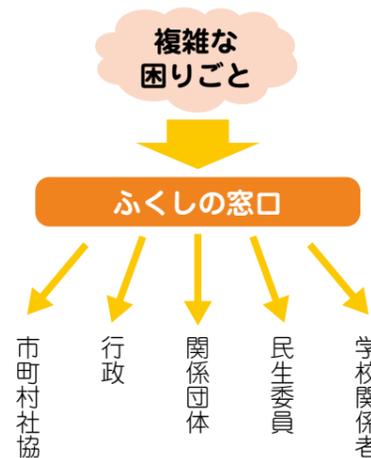
地域には、様々な課題を抱えた人が存在し、その課題は複雑多岐にわたります。

- 精神疾患を患って、就職したくてもできずに生活に困っている人
- 妻を亡くしてから近所の人との交流が減り、認知症になって金銭管理ができなくなったひとり暮らし高齢者
- 相談をしたくても、窓口が多くてどこに相談していいのかわからない人
- 相談したけれど、たらい回しにされて途方に暮れている人

このように、地域に存在する“声”をまずは受け止める「包括的な窓口」が必要です。

上記のことを踏まえ、大分県社協は市町村社協をはじめとした関係機関・団体、福祉施設等と連携・協働しながら、「まずは受け止め、そして解決していく」体制を整備しています（包括的相談支援体制）。

そして、“声”を待つだけでなく、必要な人に必要な情報が届くように情報発信にも力を入れて、市町村社協、関係機関・団体とのつながりを活かしながら活動していきます。



● 福祉の宅配便



地域福祉活動を行う中で、様々な思いや考えが出てきます。

- こんな仕組みがあったら便利だな
- 自分たちの活動を多くの人に知ってもらいたい
- こんな取組をしてほしいな

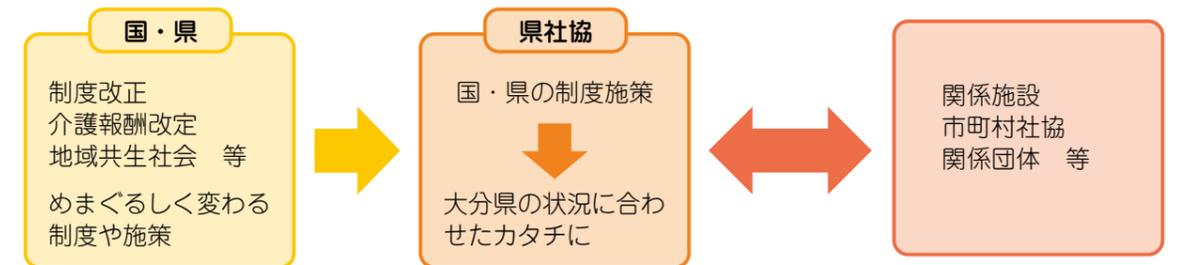
また、福祉サービス等を利用する中で、時には不満や苦情が生じたり、権利を訴える声も出てきます。

- サービスを適切に提供してもらえなかった
- 利用契約の判断などが、自分だけでは難しい

このような“声”をしっかりと受け止め、地域福祉の推進に活かしていくために、大分県社協は“声”を地域につなげていく役割を果たします。

多く存在する“声”を集め、それらを福祉につなげていくだけでなく、必要に応じて事業化や提言も行っています。

● 福祉コンサルティング



社会福祉に関する制度・政策は大きく変わっていきます。

制度・政策の改正は、社会福祉の現場で活躍する福祉施設、団体、市町村社協に対して大きな影響を与えます。

- 制度改革によって何を变えていかなければいけないのかわからない
- 施設運営にどのように影響するのか不安

上記のように、地域で活動していく上での大きな壁になる可能性があります。

そのような時、大分県社協は下記のような役割を果たしたいと考えます。

- 行政とのつながりを活かして最新情報を入手し、大分県の歴史や実情に合わせて制度内容を咀嚼
- 種別協議会や市町村社協、関係団体に対して、情報提供、助言・指導を行う
- しっかりとしたフォローアップも実践する

上記のような取組を行うことで、地域で活動する関係機関・団体をしっかりと支え、さらなる連携を深めていきます。

また、地域福祉の実践のために、人材確保と育成にも力を入れます。

- 現在活動している福祉関係者の質の向上
- 介護ロボットの活用による介護負担の軽減

上記のような取組を行うことで、人材確保と育成についても支援します。

さらに、一般社会と福祉をつなげる役割を果たすため、

- 研修やイベントを通じて福祉の魅力を伝える新たな福祉人材を確保
- 海外に向けた情報発信などにも力を入れて取り組んでいきます。

1 大分県社会福祉協議会が目指す姿

●大分県社協「総プロフェッショナル計画」

大分県社協が掲げる「7つの重点項目」と、「つながり」を活用した取組を行っていくためには、大分県社協職員がスキルアップし、つながりを十分に活用できる力を身につけなければなりません。

- ・関係機関・団体とのさらなる連携強化
- ・今まで疎遠だった機関や団体との連携・協働を図る
- ・職員研修を通じた人材育成

地域の中で、「困ったときの大分県社協」という存在になれるよう、そして県民の皆さん、地域の最前線で活躍される皆さんを支えることができるように、大分県社協職員全員が「プロフェッショナル」を目指します。

●大分県社協が目指す姿とは

大分県社協が今まで行ってきた「つながり」を活用した取り組みや事業は継続させながら、さらに「つながり」を活用・発展させた取り組みを横断的に実行していくことで、包括的な地域福祉の実践を可能にします。

また、地域における全ての人や関係機関・団体がつながり、地域が一丸となって取り組むことで、基本理念に掲げる『強い絆で結ばれた地域社会の構築』の実現を目指します。そのために、大分県社協では「第四次中長期活動計画」を策定し、7つの重点テーマとそれを横断する5つの取り組みをこれから5年間で実施していきます。



地域の課題や思い

市町村社協・関係団体・施設等と協働

強い絆で結ばれた地域社会

7つの重点テーマ

横断する5つの取り組み

大分県社協の強み
「つながり」